

支笏湖 体験型観光に潜在力

専門家らオンライン会議

【千歳】支笏湖地区で体験型観光「アドベンチャートラベル(A.T)」を楽しま長期滞在してもらおう旅行プログラムを考える、市の実証事業の関係者会議が9日、支笏湖ビジターセンターで開かれた。A.Tの専門家がオンラインで参加し、A.Tリゾートとしての支笏湖地区の潜在力の高さを評価した。

観光庁は本年度、観光地

全体で地区の魅力と収益力向上を行う事業への補助を実施。支笏湖のA.Tリゾート化を目指し、モデルツアー実施や地元商店街、宿泊

施設の改修、特産のヒメマス(チップ)活魚展示などを盛り込んだ千歳市の計画が採択されている。今回の実証事業はこの計画の一環で、支笏湖温泉街の宿泊施設やキャンプ場の宿泊とカヌーなどのアクテ

ィビティを組み合わせて長期滞在プログラムの構築を目指す。年度内にワークショップやモデルツアーも実施する。

この日は、地元関係者約30人が出席。A.Tの専門家を実証事業のアドバイザーを務めるJTBの国谷裕紀さんがオンラインで参加し、A.Tについて「自然とのふれあい、文化交流、それらをより深く楽しむためのアクティビティが3要素。旅行者は高学歴、高収入で、少人数で多くの消費を生み出し、環境への負荷も少ない」と説明した。また、支笏湖地区について「大都市圏の札幌や空港に近いのに、環境が保全され、

上質なA.Tが体験できる潜在力がある」と評価した。(佐藤宏光)



実証事業の内容などについて話し合った関係者会議